

おおの



10月号

平成22年(2010年) NO.782



“特集” 越前大野城築城430年祭メイン月間

- P 8 第五次市総合計画基本構想素案を公開／国勢調査
- P 9 循環バス試験運行1年
- P 10 大学生が実習・提言
- P 11 市美展／災害対応消防自動車を配備
- P 12 指定学校の変更申請／保育園見学会
- P 13 結楽座ワゴンで販売を／伝統的民家助成金の希望調査

チーム一丸たすきつなぐ

9月9日、奥越ふれあい公園陸上競技場を発着点として奥越地区中学校駅伝大会が開催されました。大野、勝山の8校から男女合計30チームが出場。少しでも早くたすきをつなごうと、たわわに実った稲穂の横を駆け抜けました。



携帯電話用サイトを公開

10月1日から市ホームページの携帯電話用サイトを公開しました。



<http://www.city.ono.fukui.jp/i/>

メインイベント

430年の時空を超え越前おおのに集う 記念パレード

日時 10月10日(日)午後0時30分～3時30分

市民参加の音楽隊や子ども武者隊など、総勢1,400人が、金森長近公役の俳優、山下真司さんといっしょに越前おおのを盛大に練り歩きます。

- 子ども武者隊（市内の各保育園や各幼稚園などが行進）
- 音楽隊（自衛隊や県警、小中学校や高校、市民吹奏楽団が音楽隊を結成）
- ふるさと踊り隊（市内の団体が参加）
- 越前おおの友好都市隊（友好都市の皆さんが踊りを披露）
- 越前おおの時空行列
 - 金森長近公入城行列
俳優の山下真司さん扮する「金森長近公」とお福の方コンテストグランプリ銭井秀予さんが扮する長近公正室「お福の方」による入城行列
 - 大野偉人行列（平成大野屋支店主や番頭が偉人に扮します）
 - 西洋流火術鉄砲隊（東京都板橋区から。幕末の大野藩主土井利忠公が取り組んだ高島流砲術を演武）
- 越前おおのアピール隊（市内の団体や企業による隊列です）

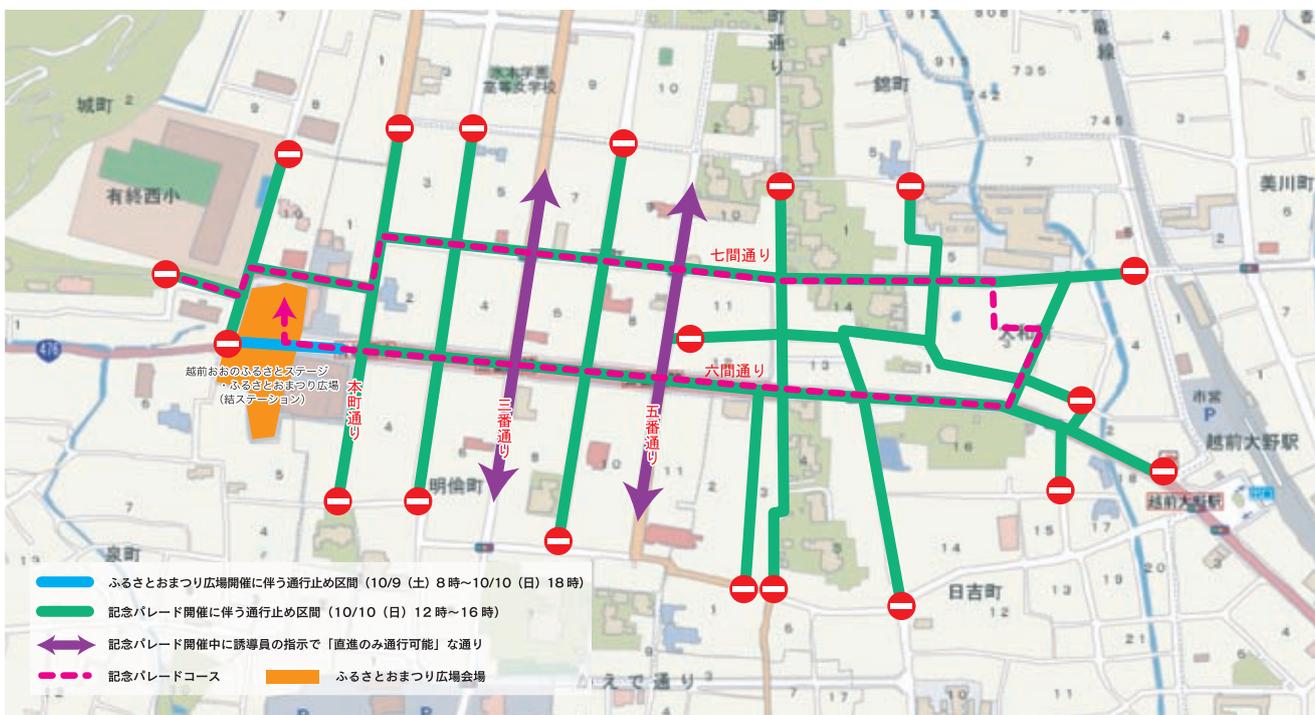


ひこにゃん 彦根市許諾(無償) No1020086

幕末の近江彦根藩の殿様で江戸幕府大老の井伊直弼公と土井利忠公がいとこ同士の縁で、ひこにゃんもお祝いにやってきます。



俳優 山下 真司さん



まちなか循環バスやシャトルバスの利用を

結ステーション周辺の駐車場は利用できません。記念パレードの時に交通規制を行います。まちなか循環バスなどの公共交通機関や、郊外と市役所を結ぶシャトルバスを利用し、混雑防止にご協力ください。シャトルバスは10分から30分までの間隔で運行いたします。【シャトルバス発着駐車場】奥越ふれあい公園、ショッピングモールV10、エキサイト広場、真名川憩いの島

越前大野城築城430年祭

3月から始まった越前大野城築城430年祭がいよいよメイン月間を迎えます。盛りだくさんのイベントをお楽しみください。

越前おおのの魅力を集結

越前おおのの魅力体感展示館

日時 10月2日(土)～24日(日) 午前9時～午後4時30分
 (土)祝日は午後7時まで開館

場所 結ステーション

入場無料

越前おおのの魅力を一堂に集め、大野が誇る豊かな「水」や誇り高き伝統文化を発信するため、「歴史紹介ゾーン」「魅力発信ゾーン」「逸品紹介ゾーン」を展開します。

430年の時を祝う 記念式典

430年の節目を市民の皆さんと祝います。

記念セレモニー

金管バンドコンサート

太鼓演奏

日時 10月9日(土)午後3時30分～4時30分

場所 結ステーション

まちなか交流センター

魅力発信ゾーン

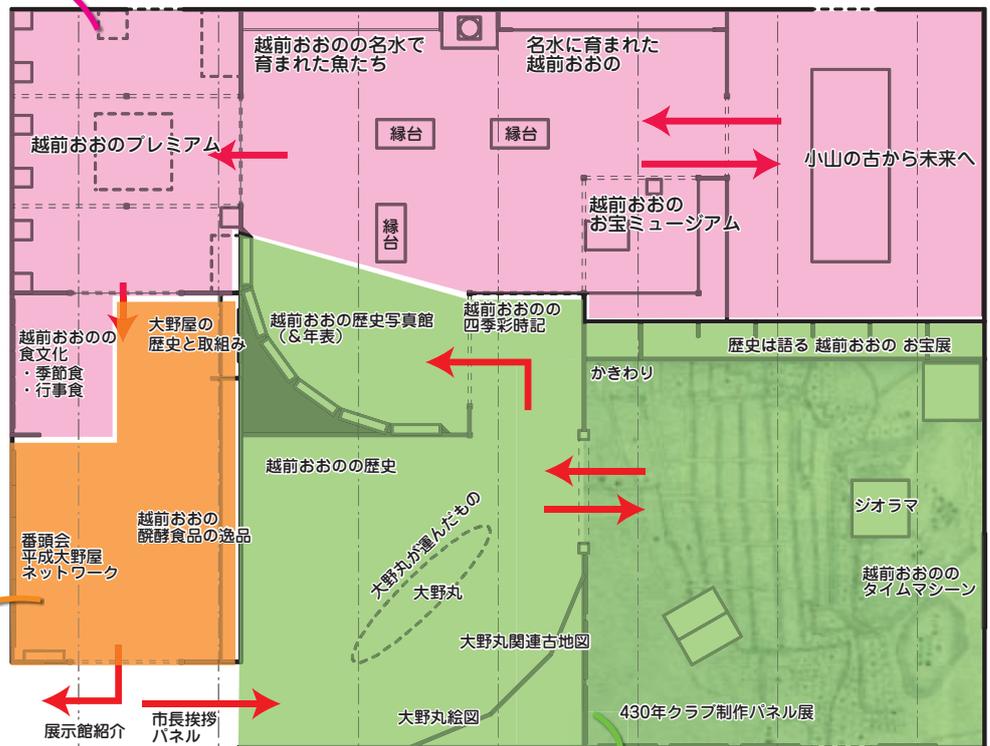
—名水が育むおおの—

- 市内に点在する「湧水スポット」を写真パネルと地図で紹介
- 豊かな水に生きる魚を観察
 その他、小山の荘地域を巨大航空写真で展示、優れた技術品を展示する「越前おおのプレミアム」、越前おおのに伝わる「食文化」の紹介。おかきで制作した大野城など、名水に育まれた越前おおのの魅力を発信していきます。

逸品紹介ゾーン

—おおのの誇りと宝—

- 酒やしょうゆ、みそ、酢など越前おおのが誇る醗酵食品を展示
- 大野藩の財政危機を救った大野屋の歴史を紹介



歴史紹介ゾーン —おおのの誇りと宝—

- 床面に大野町絵図を配置し金森長近公が行った築城や都市計画を体感
 - 金森長近公が行った城下町の建設や激動の幕末期などを大型スクリーンで紹介
 - 430年クラブ製作の「大野藩の御殿」の模型を展示
- 他にも、越前おおのの歴史に触れる内容が盛りだくさん。越前おおのの歴史を紹介するパネル展示コーナーをはじめ、藩政改革の象徴とも言える「大野丸」の模型展示や幕末の嫁入り道具など、歴史を感じるお宝の展示を行います。

人物が
集い楽しむ
祝祭空間

ふるさとステージ

ふるさとおまつり広場

結ステーション

ふるさとステージ

9日

- 10:00 ~ 10:30 オープニング【和太鼓】
- 10:30 ~ 12:00 越前おおのこども文化祭【子ども神楽／鞆おどり／子ども太鼓／創作昔話「おむすびころりん」紙芝居】
- 12:00 ~ 13:30 ふるさと祭りステージ【市内に伝わる伝統芸能を披露、稲郷里神楽／木本里神楽／蕨生里神楽／篠座獅子神楽】
- 14:00 ~ 14:45 おおの元気コンサート【竹島宏コンサート】

10日

- 10:00 ~ 10:30 防犯ドクターによる防犯実験(安全・安心フェア)
- 10:30 ~ 12:00 越前おおの城音楽祭
- 15:30 ~ 16:00 山下真司トークショー【お福の方・銭井秀予さんも出演】
- 16:00 ~ 16:15 越前おおのアピール隊コンテスト表彰式
- 16:15 ~ 16:30 フィナーレ「大野の未来へ〜3万8千人の誓い」

ふるさとステージでは、越前おおの時空行列で金森長近

公役の山下真司さんによるトークショーの他、ミニコンサート、郷土芸能など盛りだくさんの内容です。

ふるさとおまつり広場では、物産の販売、飲食、体験コーナーもあります。

ふるさと
おまつり広場

日時 10月9日田〜10日回の
午前10時〜午後4時30分

販売ブース
「越前おおの味屋台」

地元産の食材を使った郷土料理や創作料理、B級グルメにスイーツなど、大野の味覚満載の屋台が立ち並びます。

「越前おおの食彩市」

大野の特産品や新鮮な地場産野菜のほか、秋の食材

を使った惣菜などを販売します。

「友好交流都市特産市」

本市と交流のある都市や歴史的なゆかりのある都市の特産物を販売します。

「ふくいやまぎわ天下一街道特産市」

ふくいのやまぎわら市町の特産品や味覚が集結します。

「食体験イベント」

「そば打ち体験」

「大野在来種」として、その風味は高く評価されている越前おおの「そば」。市内のそば打ち愛好家の指導で、そば打ちのおもしろさを体験することができます。

「歴史体験イベント」

「戦国武将なりきり体験」

鎧兜を身にまとい、あなたも戦国武将に大変身できます。

「ちびっ子広場」

木の枝や端材などを使った木工クラフトを体験することができます。

「昔遊び体験」

石けり、輪投げ、けんけんぱ。どれも単純だけれども面白い昔遊びの数々を大野地区長生会のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に楽しみましょう。

「ドングリ苗木の配布」

越前おおのエコフィールドで育てたドングリの苗木100本を緑の少年団阪谷が10月10日回午前11時30分から配布します。なくなり次第終了します。

「安全・安心フェア」

(10月10日回午前10時〜午後4時30分)子供用の警察制服を着てパトカーとの記念撮影コーナーや防犯ドクターによる防犯実験コーナーなどがあります。

関連企画も盛りだくさん

イトヨの里特別企画展 市主催事業

築城430年の歴史とともに、人と自然が共存する大野ー

撮影者 写真家 なかばやしよしはる

越前おおの結ステーション内の藩主隠居所で展示やトークショーなどを行います。入館無料です。

○フォトトーク&スライドショー

○フォトギャラリー

なかばやしさんが写真への思いなどを語ります。

期間 10月1日(金)～31日(日)

(期間中は無休)

日時 10月3日、10日、24日、31日いずれも回の午後1時～2時

時間 午前9時～午後5時
テーマ 湧水の見える町ー

○撮影会

なかばやしさんと撮影してみませんか。申し込みが必要です。

日時 10月16日(日) 午後1時～3時

定員 10人程度(先着)

締切 10月10日(日)

図 本願清水イトヨの里

(☎65・5104)

創作昔話

「おむすびころりん」

紙芝居上演

市民自主事業



昔からあるストーリー「おむすびころりん」を、金森長近公が築城した越前大野城、さらに大野の方言など、郷土風景を取り入れたオリジナルの創作紙芝居を発表します。

日時 10月9日(日) 午前10時～午後4時30分

場所 結ステーション(ふるさとおまつり広場で発表)

図 奥越紙芝居研究会

(☎0800・6354・1836)

スポーツ・レクリエーション祭

「まちなかウォークラリー」

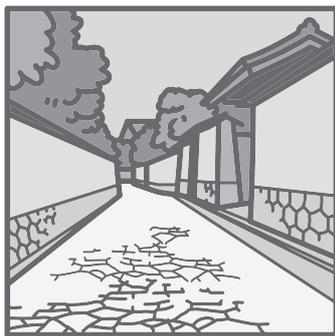
市主催事業

市街地を巡るコースを歩き、城下町の風情や町並みを堪能しませんか。

日時 10月11日(日) 体育の日 午前9時30分、エキサイト広場出発

図 健康増進課健康増進係

(☎65・7333)



大野城下軽トラ野菜市

実行委員会支援事業

生産者が軽トラックに、自らが丹精込めて育てた農林産物を満載にし、対面販売を行います。安全・安心でおいしい逸品や加工品が手ごろな価格で販売されます。

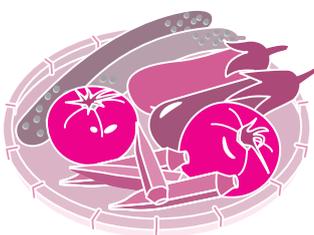
日時 16日(日) 午前9時30分～午後4時、17日(月) 午前9時

午後3時

場所 結ステーション

図 農林楽舎

(☎66・1111 内線581)



大野児童画展

市民自主事業

市内の幼児や児童の絵画作品約100点を展示します。

期間 10月17日回〜24日回

(ただし14日は休み)

時間 午前9時〜午後4時

場所 有終会館

その他 24日回午前中に饗嘸

さんが来場します

大野児童画研究会

(☎65・80051)



木のぬくもり

木のおもてなしコンサート

市民自主事業

築城430年祭にちなみ、

大野の歴史を語り、その情景にあった音楽を提供します。

豊かなクラシック音楽を中心に、いろいろな分野の音楽を楽しんでください。

日時 10月17日回午後6時開場

場所 文化会館

入場料 一般1,500円(当日1,800円) 高校生以下800円(当日1,000円)

チケット販売所 平成大野屋、ショッピングモールV10、芦原楽器

木のおもてなし会

(☎66・15888)



饗嘸展「虹男・虹女が大野城に現れた」

市民自主事業

世界的なアーティスト・虹の作家・饗嘸さんの新作や大作を展示します。

期間 10月23日回〜11月3日回

時間 午前9時〜午後4時

回と祝日は午後5時まで
10月23日回は午前10時30分〜午後4時、11月2日回は午前9時〜午後8時

場所 越前大野城

その他 10月23日回には饗嘸さんが来場します。準備のため、22日回は越前大野城を臨時休館します。

園市歴史博物館

(☎65・55220)

饗嘸展実行委員会

(☎65・80051)

饗嘸さんからのメッセージ

トンネルを抜けて眼下にある大野盆地は、60年来僕の桃源郷です。その大野の象徴の大野城に僕の何かをぶつけたい衝動が今度の試みになりました。今年の秋、あるがままの大野城内に僕の分身の虹の男女を立たせたいと思います。

'10三大朝市物産まつり

実行委員会支援事業

七間朝市総出店による、農林産物を中心とした「越前おの」の特産や名産品の即売市です。友好都市やゆかりのまちの物産市など、各地の「まいもん」が集う秋の食祭イ

イベントです。

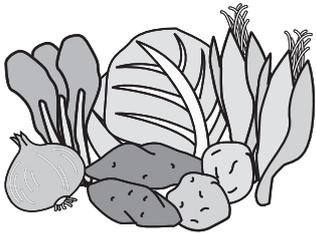
日時 10月23日回午前10時〜午後4時、24日回午前8時〜午後1時30分

場所 越前大野七間朝市振興協議会

(☎69・95200)

議事

(☎69・95200)



てらまつり

アート&クラフトフェア

市民自主事業

アートクラフト作品を展示し、販売会を開催します。各寺院の宝物を見学することもできます。

日時 10月23日回午前10時〜午後5時、24日回は午後4時まで

場所 寺町通り、七間通り

てらまつり実行委員会

(☎66・90888)





実行委員会支援事業

九頭竜紅葉まつり

紅葉茶屋 奥越の味がふんだんに詰まった弁当を限定販売

越前大野銘菓市 北陸の小京都・越前大野の銘菓を紹介

紅葉ステージ 市内や近隣のまちからの太鼓や踊りなど郷土芸能を中心に披露

紅葉市場 市内の特産品や新鮮な野菜など秋の味覚を販売。交流市町の「里の幸」や「海

の幸」を販売

遊びの広場 落ち葉のプール、木の工作など

くらしの情報コーナー JR越美北線利用促進、メタボ脱出大作戦、ストップ温暖化

その他 流木の無料配布、県産材利用促進、紅葉杯争奪グートボール大会(申し込みが必要)

特産早食い大会出場者を募集

大野の特産、穴馬スイートコーンやソバなどをペアで食べ、どれだけ早く食べ終えるかを競います。

定員 12組(小学生と大人の2人で1組。両日とも6組が出場)

参加料 無料

出場日時 10月30日(土)午後1時30分ごろ

10月31日(日)午後0時50分ごろ

表彰 両日とも上位3組に昇竜まいたけを贈呈

日時 10月30日(土)・31日(日)
午前9時～午後4時
場所 九頭竜国民休養地

市観光協会 (☎65・5521)

マイバッグ持参運動

まつり当日マイバッグを持って来た人両日200人(先着)に、周辺施設利用割引券をまつり本部で贈呈します。



九頭竜まつりシンボルマークの募集

九頭竜まつりのシンボルマークを募集します。

九頭竜まつりとは、新緑まつりと紅葉まつりの総称です。まつりの会場は、九頭竜川が流れ込み、新緑や紅葉の山々に囲まれる自然豊かな場所です。地元の人と触れ合いながら特産品などの買物ができる「食と触れ合い」をテーマに、市民による手作り感のあるまつりを目指しています。

規格 フルカラー

申込方法 Eメールか郵送

締切 11月30日(日) (当日消印有効)

表彰 最優秀賞1点、賞状と5万円(18歳以下は商品券)来春の新緑まつり会場で表彰

その他 詳細は市観光協会や協会のホームページから入手できる募集要領を見た上で申し込んでください

市観光協会 (☎65・5521)

〒912-0081 大野市元町 10-23

Eメール info@ono-kankou.jp

ホームページ

http://www.ono-kankou.jp/

紅葉まつりJR越美北線時刻表

(★は臨時列車。九頭竜湖駅と会場間はシャトルバス運行)

福井	★8:35	9:08		12:49
越前東郷	★8:45	9:21		13:02
越前大野発	★9:16	10:15	★11:39	13:44
越前田野		10:19	★11:43	13:48
越前富田		10:22	★11:46	13:51
下唯野		10:26	★11:51	13:55
柿ヶ島		10:28	★11:53	13:57
勝原		10:33	★11:58	14:02
越前下山		10:42	★12:10	14:11
九頭竜湖着	★9:40	10:46	★12:15	14:15
九頭竜湖発	10:58	★12:22	14:33	★16:32
越前下山	11:02	★12:27	14:37	★16:36
勝原	11:08	★12:34	14:44	★16:42
柿ヶ島	11:13	★12:38	14:49	★16:47
下唯野	11:16	★12:41	14:51	★16:50
越前富田	11:20	★12:45	14:55	★16:54
越前田野	11:22	★12:48	14:58	★16:56
越前大野着	11:27	★12:54	15:03	★17:01
福井着	12:22	(止)	15:58	17:59



第五次大野市総合計画基本構想

―素案公開・意見募集―

第五次大野市総合計画基本構想は、大野市の最上位構想です。平成23年度から32年度までの10年間で目指す、本市の将来像や人口の見直し、まちづくりの基本目標を設定します。

基本構想に市民の皆さんの意見を反映させるため、その素案を公開し意見を募集します。

提出された意見の概要や意見に対する市の考え方、素案を修正した場合の修正内容は、後日、市ホームページで公表します。

募集期間や閲覧場所、意見提出方法などは、次のとおりです。

募集期間 10月1日(金)～18日(日)
閲覧場所 市役所1階行政資源

料室、2階行政戦略室、和泉支所、各公民館、図書館 ※市ホームページへ掲載

意見などの提出方法 住所、氏名、連絡先、市外

在住の場合は勤務先も記載し、次のいずれかの方法で提出してください。

○指定場所への提出
○郵送かファクス、Eメール

基本構想(素案)の概要

構想年次を平成23年度～32年度とし、目標年次は平成32年度とします。

第1章:将来像

将来像は大野市が目指す10年後のまちの姿で次のように定めます。

「ひかりががやき、たくましく、心ふれあうまち」

第2章:将来の見通し

目標人口をやや減少の33,000人と設定します。

ふれあい交流人口は、人口に1日当たりの市外からの来訪者数を加えたものです。観光客の大幅増を見込み、目標年間観光入込み客数を200万人(1日当たり約5,000人)と設定します。目標ふれあい交流人口は、38,000人と設定します。

土地利用の基本方針は▶大野の特性を生かした土地利用▶自然と共生する土地利用▶安全で快適な土地利用とします。

第3章:構想実現のための柱と基本目標

「人が元気」 優しく賢くたくましい大野人が育つまち 共に思いやり支え合う安全で安心なまち

「産業が元気」 誰もが快適で暮らしやすいまち 越前おおのの魅力あふれる活力あるまち

「自然が元気」 美しく豊かな自然環境を育み継承するまち

第4章:基本構想実現に向けた行政運営

基本目標を実現するため▶市民総参加・協働型の市政の推進▶情報化社会に対応した市政の推進▶健全な行財政の推進を積極的に行っていきます。

ルでの提出(電話や口頭は不可)

総合政策課行政戦略室

TEL 66・1111内線434

FAX 65・8371

〒912-8666 (住所を)

国勢調査

10月7日までに提出を

国勢調査は、10月1日現在、日本に住んでいるすべての人や世帯が対象です。今回は、我が国が本格的な人口減少社会となつて実施する初めての調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口や世帯の実態を明らかにする重要なものです。

調査結果は、さまざまな法令で利用されるほか、社会福祉や雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

封筒に入れる前に、調査票の記入に誤りがないか確認してください。記入後、調査票を封筒に入れて封をした上で調査員に渡してください。市役所に郵送で提出することも

書かなくても届きます)

Eメール senyaku@

city.fukui-ono.lg.jp

できません。調査票が届いていない場合は、至急連絡してください。

情報広報課情報管理係
TEL 66・1111内線444



ご協力
お願いします

まちなか循環バス試験運行1年

公共交通の積極的な利用を

市では利用しやすい公共交通を目指しています。まちなか循環バスと乗合タクシートの試験運行を昨年10月から実施し、1年が経ちました。

バス利用者は、1便当たり約1人と少ない状況です。将来にわたり運行し続けることができるよう地球環境にやさしい公共交通機関を積極的に利用するよう心掛け、皆さんも毎月1度は利用してみませんか。

市内の利用者は増加

試験運行開始前1年間の利用者数は、市内路線バスと乗合タクシートの合計で1万3533人でした。試験運行開始後11カ月間では、合計で2万5059人です。まちなか循環バスの導入や乗合タクシー運行区域の拡大で、これらを利用する人は約1万1千人増えています。

循環バス1便1.1人

まちなか循環バスは市街地での新たな移動手段として試験運行しています。平成21年10月から平成22年8月までの11カ月で、1万2553人の利用がありました。試験運行開始当

初よりも利用者数は増えていますが、1便当たりの平均利用者数は1.1人とまだまだ少ない状況です。

乗合タクシー1.7人以下

農村部と市街地を結ぶ公共交通として、4つの区域に分けて4人から9人乗りの乗合タクシーを試験運行しています。11カ月間の総利用者数は8,817人で、試験運行開始前と比べ、運行区域が拡大し、どの集落からでも乗車できるため、多くの人が利用しています。1便当たりの平均利用者は0.7人から1.7人まで運行区域によって異なりますが、少ない状況です。

本格運行に向けて利用を

高齢者や高校生など自動車運転できない人にとって、公共交通は日常生活を送る上で必要不可欠な移動手段です。

市では、市全体の移動手段を確保するため、国の補助金を活用しながら、まちなか循環バスと乗合タクシーの試験運行を行っています。今後1人でも多くの利用が、まちなか循環バスなどの本格運行につながります。

出掛ける際に利用を

市民アンケートなどで寄せられた意見には、「現在は利用しないが、将来、車を運転できなくなったら利用したいので、運行を続けてほしい」というものがありました。将来にわたって運行し続けられる公共交通機関としていくには、今から1人でも多くの人が利用することが不可欠です。月に1度でも通学や通勤

買い物、通院など出掛ける際には、まちなか循環バスや乗合タクシーを利用することが必要といえます。

4日から11日は無料

まちなか循環バスと乗合タクシーは、10月4日から運行ルートや運行時刻が見直されます。新しいルートや時刻で運行を開始する4日から11日までは、まちなか循環バスの乗車を無料とするキャンペーンを行います。この機会に、まちなか循環バスに1度乗り、便利になったまちなか循環バスや乗合タクシーを実感してください。

利用方法を案内

まちなか循環バスや乗合タクシーの利用方法が分からない場合、利用する前日までに連絡してください。担当者が直接伺い、説明します。

◎ 都市計画課計画画景観係
☎ 66・1111内線3533



大学生の視点で提言

法政大生や立命大生が市内で実習

7月から8月にかけて、大学生が阪谷地区や和泉地区を中心に市内で実習を行いました。学生は地区民との触れ合いや施設の視察などを通じて本市への理解を深め、市や地域の活性化に向けて提言をしました。



地元の子ともと交流する法政大生

法政大学生 阪谷で地域づくり実習

市では、法政大学現代福祉

学部にて自治体推薦を行っている縁で、同学部が行う教育課程の一つとして、地域

づくりや地域福祉について体験するため本市で実習が行われていきます。

同学部生による実習の受け入れは、本年度4回目です。学生1人が7月29日から8月9日までの12日間、阪谷地区で宿泊（ホームステイ）をしなから地区の住

民といっしょに活動し、地域活動などについて実習しました。自身が研究のテーマにしている公共交通分野の取り組みや、関心を持つ中心市街地活性化など市の施策も学びました。

報告会では、観光客の視点に立った景観や環境整備などのまちづくりについて、若者の目線から、大野の魅力や課題についての意見発表や提言を行いました。

立命館大生

阪谷と和泉で公共政策実習

市では、大学生が住民と一緒に滞在しながら、さまざまな活動を通じて、地域に対して提案をもらい、地域の活性化を図る「インターシッブ」を受け入れています。

立命館大学法学部の「公共政策実習」は本年度3回目です。8月9日から11日間、阪谷と和泉の2地区に分か

れて学生9人が地域と触れ合いながら実習しました。

実習のテーマには、中山間地の農村集落や合併後の旧村内集落の活性化を設定。滞在中に住民への聞き取り調査や関係団体との意見交換

会、地区内の視察など多岐にわたる課題解決の糸口を探しました。最終日にテーマに基づいた集落活性化策を提言。その後、調査の対象となった各地区の住民に対しても報告会を開催しました。

越前おおのファンの獲得へ

これらの実習の受け入れは、学生が本市で見識を深め、都市に住む若者の立場で潜在する本市の問題点などを報告してもらうことを目的としています。学生と地域住民との交流を通じて「越



スクリーンなどで提言する立命大生

前おおのファン」を獲得することも目的の一つとしています。

【法政大の実習】総合政策課企画政策係

☎66・1111内線4320

【立命館大の実習】農業農村振興課農政係

☎66・1111内線3140

市美術展

力作ずらり

8月27日から29日まで有終会館で市美術展が開催されました。多くの市民などが展示された力作に見入っていました。

県内に在住している高校生以上の人から募集した一般作品290点の中から選考された受賞者は次のとおりです。

市長賞 朝日静文(洋画部門)
中村澄子(日本画部門) 小島尚(彫刻・工芸部門) 田中康香(書道部門) 佐々木輝美(写真部門)

市議会議長賞 門前幸夫(洋画部門) 松田清一郎(日本画部門) 都竹賢二(彫刻・工芸部門) 中村紅甲(書道部門) 松森諭(写真部門)

教育委員会賞 木村佳子(洋画部門) 塚本寛子(日本画部門) 島田登茂子(彫刻・工芸部門) 木下麗芳(書道部門) 松本晃一(写真部門)

文化協会賞 風林敏子(洋画)



部門) 松田典子(彫刻・工芸部門) 猪野祥虹(書道部門) 加藤あや子(写真部門) 小島英一郎(写真部門)

福井新聞社賞 川森礼子(彫刻・工芸部門) 安居幸恵(書道部門) 高橋猛(写真部門) 高橋豊子(写真部門) 萩原與市(写真部門)

IBC賞 中村竹映(書道部門)

文化課文化係
☎65・5410

本町通りを石畳風に

本町通りの両脇を石畳風に整備しました。整備区間は曹源寺前から石灯籠通りまでの540メートルです。

目地を入れて石畳に模した舗装に施工し、耐久性や耐摩耗性に優れています。

☎ 都市計画課都市整備係
(☎66・1111 内線355)



百間坂へ新しい通路を設置

柳酒社の社殿右奥に、百間坂へ続く約80メートルの通路を整備しました。百間坂と同じ素材で舗装し、歩くと柔らかく感じるよう工夫しています。

☎ 都市計画課建築住宅係
(☎66・1111 内線356)



災害に対応できる消防自動車を配備

総務省消防庁から多機能型消防自動車が無償貸与され、市消防団第9分団(員Ⅲ区)に配備しました。

この消防自動車は、小型動力ポンプ、手動式油圧力カッター、エンジンカッター、チエーンソー、自動体外式除細動器(AED)など消火資機

材や救助資機材を装備し、災害時に迅速に対応できます。両方の側面はガルウイング式の扉で、全面が開く構造です。後の面は跳ね上げ式で狭い道でも機材を取り出しやすくなっています。

☎ 消防本部警防課
(☎66・0119)



指定学校の変更は申請を

市教育委員会では、来春、小学校や中学校に入学する児童や生徒の住所に基づき、就学時健康診断の案内(10月)や就学する学校を指定する通知(来年3月)を送付することになっています。

次のいずれかに該当する場合、保護者は指定学校の変更を申請することができます。変更が許可される期間や必要書類は変更事由の種類によって異なります。詳しくは問い合わせてください。

途中転居 在学中に転居する場合で、通学に支障がないとき(就学時に在学中の兄弟がいる場合を含む)

転居予定 住宅の新築、改築、売買などにより転居することが確定しており、転居予定地の学校へ通学を希望する場合で、通学に支障がないとき。新築確認書や売買契約書等の書類が必要

留守家庭 現住所に昼間保護する者がなく、預かり先や両親の勤務先がある校下

の学校を希望するとき。預かる人の承諾書が必要

身体的理由 病気などの身体的理由で、通学か通院について配慮する必要があるとき。兄弟姉妹についても配慮します。医師の診断書な

ご事実確認ができる書類が必要

教育上の配慮 家庭の事情やいじめ、不登校などにより、変更することを教育委員会が適当であると認めるとき。学校長の意見書などが必要

通学距離 通学距離がおおむね小学校で2^キ、中学校で4^キを超える場合で、著しく通学距離が短縮されるとき

その他にも変更が必要と教育委員会が認めたときに申請

することがあります。

☎ 教育総務課指導係
66・1111内線521

親子で行ってみよう 保育園見学会

来年4月から保育園に入園を希望する乳幼児と保護者を対象に、市内すべての公立と民間の保育園で見学会を行います。保育園を選ぶ際の参考にしてください。申し込みは不要です。

見学会日程以外でも各保育園へ電話で確認し、見学することができますので、各園に問い合わせてください。入園の申し込み方法は次号でお知らせします。

日時 10月25日(月)～30日(土)

時間 午前9時30分～11時

問 児童福祉課子育て支援係 (☎66・1111内線291)

園名	電話番号	所在地	定員
【公立】義景保育園	☎66・3333	清水119-12-1	40人
【公立】春日保育園	☎66・4005	日吉町24-6	60人
【公立】あかね保育園	☎66・5273	水落町7-24	75人
【公立】荒島保育園	☎66・4103	蕨生126-29	30人
【公立】阪谷保育園	☎67・1070	伏石11-14	25人
【公立】和泉保育園	☎78・2812	朝日25-7	20人
【民間】いとよ保育園	☎66・3848	清和町710	100人
【民間】上庄保育園	☎64・1217	稲郷43-5	90人
【民間】いなやま保育園	☎66・0038	篠座94-39	90人
【民間】誓念寺保育園	☎65・6167	錦町4-17	90人
【民間】亀山保育園	☎65・1104	水落町3-35	60人
【民間】開成保育園	☎65・1103	新庄5-15-2	150人
【民間】誓念寺中野保育園	☎65・6166	東中野二丁目603	140人
【民間】篠座保育園	☎65・6570	篠座74-32	60人

※誓念寺保育園は休日保育を行います。全園で延長保育、一時預かり保育、障害児保育を行います。

雑貨や農産物など、販売してみませんか 結楽座ワゴンスペースでチャレンジショップ

「越前おおの結楽座」のワゴン販売スペースを利用して、手作り雑貨や農産物などを販売してみませんか。フリーマーケットの場所としても利用できます。

利用の予約は利用したい月の2カ月前に開催する「利用調整会議」に出席してください。12月分の利用は10月1日に、来年1月分の利用は11月1日にいずれも午後2時から市役所内で開催します。調整会議の後は随時受け付けています。

スペースはワゴン1台分から貸し出しています。イベント時を除き、最大6台で運用し、出店時間は原則として午前9時から午後7時までです。農産物の販売は午前11時からです。結楽座横の多目的広場兼駐車場でイベントが開催される際は時間延長もできます。毎日の予約状況は市ホームページで確認することができます。

利用料金 200円、市外の方は300円（ワゴン1台分1日当たりの金額。ワゴンの大きさは横150センチ・縦100センチ）
 図 産業政策課政策推進係（☎66・1111 内線392）

伝統的民家の新築や改修に助成 平成23年度助成金の希望調査

市では、良好な景観の推進を図るため、基準に適合した伝統的民家の新築や改修に助成を行っています。平成23年度（23年4月から24年3月まで）に新築や改修を行う予定があり、助成を希望する人は、10月29日（金）までに都市計画課へ相談してください。相談の際には、建物の現況が分かる写真を持ってきてください。助成希望者が多い場合、対象者の選定を行います。

主な助成の制限 （共通事項）

- 対象物件は市が定める基準を満たすものとします
- 施工者は市内の事業者とします
- 屋根のみの改修は助成の対象としません
- 10年間は保守や管理に努めるものとします

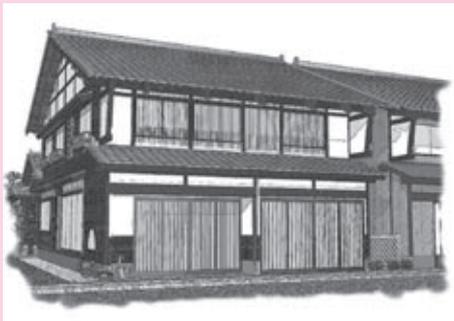
図 都市計画課計画景観係
 ☎66・1111 内線3502

まちなか町家暮らし支援事業

中心市街地で、「町家型住宅」を新築・改修する場合に外観工事費の一部を助成します。

助成対象	種別	助成金額
町家型住宅 (店舗含む)	新築	外観工事費の2分の1 限度額100万円
	改修	外観工事費の2分の1 限度額200万円
町家型 共同住宅	新築	外観工事費の2分の1 限度額400万円 (1戸当たり50万円限度)

【町家型住宅の例】



越前おおの伝統的民家普及促進事業

中心市街地以外で、「町家型住宅」か「農家型住宅」を新築・改修する場合に、外観工事費の一部を助成します。

助成対象	種別	助成金額
町家型住宅	新築	外観工事費の2分の1 限度額100万円
農家型住宅	改修	外観工事費の2分の1 限度額200万円

※角地の町家型住宅については助成限度額が新築125万円、改修250万円になります。

【農家型住宅の例】

